



# 鷹栖の 18人

北海道鷹栖町の仕事と暮らしのポートレート



## 荒田 明由菜 さん 北建建設有限公司社／山恵

エゾシカの食肉処理ができる施設を完備し、鹿肉料理を提供するレストランやドッグラン・ドッグカフェを運営している。父がハンターで鹿肉を食べる機会が多く、鹿肉に携わる仕事がしたいと思っていた。今後は食に関する学校に通っていたので、鹿肉を活かしたワンちゃんの食事も考えてみたいと語る。

①高たんぱく低脂肪の鹿肉はヘルシーな食材②鹿肉加工の作業は力仕事も多い③レストランのホールやドッグランの受付業務を担当する荒田さん



## 内海 百華さん 株式会社キョクサン

塗料のふき取り作業などに使う工業用の雑巾・ウエスを扱う会社で、総務の仕事を担当。事務の入力作業や運送の手配などを行っている。カンボジアとの海外取引きをしていたことに興味を持って入社した。障害者施設に作業委託をしていて、「自分の会社とお仕事できてよかったと言ってもらえることがやりがい」と笑顔で語る。

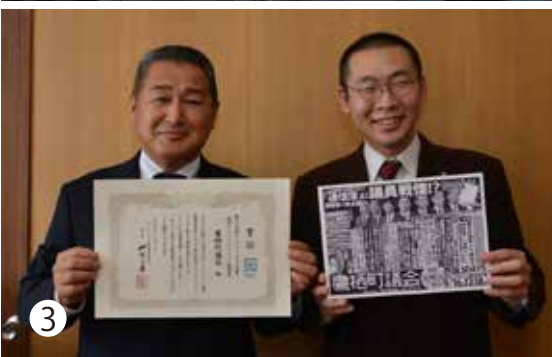
①学生時代に学んだパソコンの知識が役に立っている②入社 5 年目で総務の仕事を担当する内海さん③不要となった布が新たな用途で使われる



## 梅原 瑞月さん 松田鉄工株式会社

工場見学に来たときに、面をつけて大きなものを溶接している姿を見たときにかっこいいなと思った。未経験で入社したが、1から丁寧に教えてもらい、いまだに学ぶことが多い。自分が作った製品などで建てたものを見ることができ、自分がやったことが目に見えて残っているというのがやりがいを感じる。

①溶接の仕事を担当する入社8年目の梅原さん  
②設計図通りに溶接をし、鉄工製品を仕上げる  
③工場では溶接ロボットも活躍している④「家族とのだんらんにもいつも癒されています」と話す梅原さん



## 片山 兵衛さん 陶芸家／町議会議員

鷹栖町内の「風神窯」で陶芸家として作品作りに励み、町議会議員も務める。作品を愛用していると声をかけてもらったり、議員としての活動に関して声をかけてもらったりしたときなど、自分のしていることが誰かの役に立っていると感じられるとやりがいを感じる。

①自由に挑戦させてくれる空気があるのが鷹栖町の魅力と語る片山さん②工房では陶芸教室も実施③鷹栖町議会は中吊り広告風のチラシで賞を受賞。左は木下議長（左）④風神窯で制作を行う片山さん



## 加藤 瑛溜さん 木工作家

伝統工芸である寄木細工による工芸作品を制作している。田舎の住民が都会に行く中、新しい生活の仕方や幸せの再定義ができるのではないかと思います、鷹栖町で起業を決めた。自身が手掛ける youtube チャンネルを通じて、古民家リフォームなど鷹栖の日常を発信している。

①鷹栖町在住の若き木工作家、加藤さん②寄木細工による工芸作品を制作している③アトリエの様子着色をせず、木材そのものの色をいかし、いろんな種類の木材を組み合わせで模様を作る。④音威子府高校に通っていた時に制作したギター



①



②



③

## 多田 博宣さん 株式会社新田ファーム

掃除、えさやり、搾乳という仕事が朝晩ある。「牛がかわいい、1頭1頭個性があり、家族のように接している」と語る。肉質がいい牛が出たと高い評価をもらえるとうれしいが、肉牛の出荷は精神的に堪える。この子たちがいるから僕らが生活できているんだと思い、大事に大事に育てている。

①前職も牛の飼育をしていた多田さん②朝来て牛に「おはよう」と挨拶して仕事がスタート③「鷹栖牛」は鷹栖町の特産に。



## 田中 香子さん ヘアメイク/カフェスタッフ

美容と飲食で業種は違っても「目の前にいるお客様が一日笑って過ごせますように」と心を込めることは共通だと語る。鷹栖町の好きなのは、人の温かさや景観のよさのほか、除雪が行き届いていることや中学生まで医療費無料など現実的なポイントもあげるしっかり者。

①美容とカフェの仕事をし、2児の母でもある田中さん②人を笑顔にできるのがヘアメイクの魅力③「おいしかったよ」というお客様の言葉を聞くのがやりがい。





## 長田 さくら さん 鷹栖役場職員

旭川の大学を卒業後、生まれ育った鷹栖町役場の職員になった長田さん。現在は総務の仕事を担当し、住民からの移住の相談を受けたり、職員の給料などの管理をしたりしている。鷹栖町は「人があたたかくて居心地がよく、帰ってきたくなる場所」と語る。

①地元之恩返ししたいと鷹栖町役場の職員になった長田さん②小さいころから参加している地域のお祭りの様子③大好きなパレットヒルズの夜桜④どうやったら成功するかを追求し、ひとつの事業をやり遂げたときにやりがいを感じる。



## 成田 直美 さん 社会福祉法人さつき会

障がい者の福祉施設に勤務していた経験を生かしたいとデイサービスの仕事に就いた。ハンドメイドの担当でリースなどを作ることも。お年寄りに寄り添って、「ありがとう」の言葉が多く聞ける職場。また鷹栖町は、子育てにいろいろな制度があり住みやすいと感じている。

①特別養護老人ホーム鷹栖さつき苑で在宅介護支援課主任を務める成田さん②入浴の介助やリハビリの補助、ホールで利用者の対応など仕事は多岐にわたる③自宅から通い1日過ごす高齢者のお手伝い④さつき苑の外観。



## 原崎 拓也さん 早苗さん 原崎農園

アスパラを中心に、トマトなどの夏野菜、露地の秋野菜、大豆、米などを育てている。地元農協の直売所やセレクトショップ的な八百屋で販売するほか、地元の飲食店などにも卸している。育てるのは楽しく、食べてくれた人がおいしいということで2度3度求めてくれるとやりがいを感じる。

①農業を営んで9年になる原崎拓也さん・早苗さん夫妻②原崎農園では多品目の野菜を育てている③春から秋までは休みなく忙しい。春になると1年生のような感覚になり、収穫まではドキドキ。



## 星 ひかる さん 林川 真理絵 さん たかす円山幼稚園

人間の基礎のところを育てていく大切な仕事だということにやりがいを感じる。大きくなった卒園児たちをみて、やってきたことが間違っていなかったと思えたので、もっと園児たちにできることは何かを考えている。

①勤続8年目の林川真理絵さん(右)と4年目の星ひかるさん、ともに幼稚園教諭(左)②高校生の時に同園と交流がきっかけで幼稚園教諭を目指すことにした林川さん③実習で多くの刺激を受け同園で働きたいと思ったという星さん



## 松島 育子 さん ベビーフォトグラファー／広告会社スタッフ

マタニティ、ニューボーン、100日、1歳の誕生日といった感じで、誕生から赤ちゃんの成長を撮るベビーフォトグラファー。節目で撮影していると子どもの成長を見守る「親戚のおバちゃんのような気持ち」だと笑う。子育てしやすく年々鷹栖町が好きになっている。

①中学生の時から結婚した今も鷹栖町で暮らす松島さん②子どもの生き生きとした「今」を切り取る③ロケーションフォトにぴったりの場所が鷹栖町にはたくさん④撮影に加え、インタビューなど仕事の幅を広げている。



①



②



③



④

## 丸山 大佑 さん 学童スタッフ

児童クラブの放課後児童支援員として働く丸山さん。子どもたちの成長を見守りながら、子どもたちと遊んだり、勉強を教えたりしている。鷹栖町は学童保育や子育て支援センターなども多くあり、子どもに関わろうとする大人が多いと感じるまち。

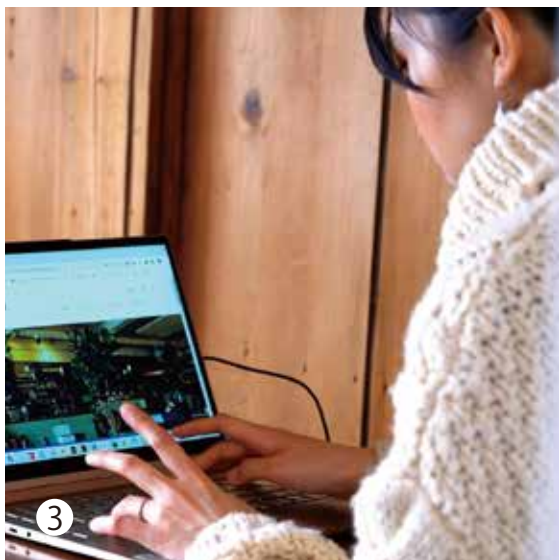
①放課後子どもたちが帰ってくる大切な居場所  
②道南の今金町出身の丸山さん③近所の人にも「子どもが遊ぶ声が聞こえていいね」と喜ばれている④卒業してからも子どもたちが遊びに来てくれるのはこの仕事のまさに「ご褒美」。



①



②



③

## 村中 里紗さん Web デザイナー

結婚を機にパートナーの地元である鷹栖町へ移住。ホームページをデザインする仕事に携わる。鷹栖町の暮らしは、ストレスフリー。人と人のつながりがすごく密で、人間らしく楽しく生きていける場所。「何もないという人もいるが、それは可能性を秘めているということ」と語る。

①奈良県出身の村中さん②クライアントは東京や大阪などが多い③デザイン経営を勉強し、地域おこしや町おこしに参画していきたい、と話す村中さん。自宅やカフェのほかコワーキングスペースで仕事をするこも。



## 山中 純平さん 有限会社協同電設

住宅の電気工事の保守・点検、新築の仕事をしている。第二種電気工事士の資格は在学中に取得し、社会人になってから会社のサポートを受けながら勉強して、第一種電気工事士の資格を取得した。若手の社員が少なかったので、少しでも会社に貢献できたらという思いがある。

①電気工事士の山中さん②鷹栖町内の街路灯の修理をするときは高所作業車を使うこともある  
③④入社して2～3年は現場の管理などをしながら、少しずつ先輩方の仕事を見て覚えた





## ゆかりさん スナックママ

人と接することが好きで、夜は自身が経営するスナックのママとして、お客さんの話に耳を傾ける。忙しい時はお客様に助けてもらうことも。そんな人のあたたかさもこの町の魅力だと語る。昼間は縁があり、自身の子どもが通っていた小学校で読み聞かせのボランティアをしている。

①一人でお店を切り盛りするゆかりママ②鷹栖小学校での読み聞かせの様子③ふんわりやさしく受け入れてくれるのでファンが多いのも納得④経営するスナックはオープンして12年に。